

2017年度第8回執行理事会議事録

期 日：2018年3月3日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：渡部会長 松田副会長 齋藤常務理事
安藤 緒方 岡田 小宮 坂口 杉田 田村 内藤 中澤 平田 廣木（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：辻森 西 山田

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者14名、委任状3名、合計17名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. Island Arcにおける日本語要旨について
日本語要旨の提出を必須としないこととするが、投稿は推奨する。この方針でWiley Online Library、投稿規程の変更を検討する。日本地質学会NEWSでの掲載の仕方については、再度検討する。

2. 日本ジオパーク委員会調査運営部会員の推薦依頼・組織改編について説明の後、調査運営部会に執行理事（ジオパーク担当）から1名と複数名を推薦することを承認。

・世界ジオパーク候補のUGGPへの推薦に際し学術的価値についての諮問をする機関（日本ジオパーク地球科学評価機構）の新設が予定されているが、その事務局を地質学会内に設置する要請については、引受け可能な返事をする。

3. 次期、高等学校学習指導要領案に対するパブリックコメント（3/15文科省締切）

廣木理事が原案を作成し、メール審議する。

4. 会長、副会長に欠員が出た場合の規則整備について

・山本監事から返答：定款変更は不要、学会は理事会設置法人なので、理事会規則の追加変更で可、との返事を受けた。

・理事会規則の改正案の原案を再検討し、一部修正を加え確定条文とし、理事会に提案することとした。

5. 4月理事会の議案について

・理事会規則の変更

・総会議案の決定・2018年度事業計画

・2018年度予算案

・名誉会員候補者選考について

・125周年記念式典並びに9月の記念シンポジウムについて

6. 全国の地球科学系若手の動向調査について

全国20大学地球科学系学科長会議（2016年度までは19大学）が情報のある程度集約しており、それ以外の大学からの情報情報収集を地質学会が担うことで、全国の若手の動向調査を行うとの提案。広報担当理事（坂口）が具体的な方法を検討することを承認した。

7. 地質学雑誌のあり方についてのアンケートについて

タスクフォース委員会の齋藤理事から出さ

れた表記アンケートの趣旨について問題点を検討し、タスクフォース委員会で再検討することとした。

II 報告事項

1. 全体の報告

1) 選挙管理委員会からの理事選挙結果報告

2) 地球惑星科学分野新規大型研究計画の創出について

応募締め切りが遅れたが、提出することにする。今後も議論を継続する

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1) 三浦半島活断層調査会の「城ヶ島観察会」（5/20）の後援依頼を承諾した。

2) 筑波大学2018年第13回「科学の芽賞」後援名義使用依頼を承諾した。

3) コスモ国際賞選考委員会より同賞の推薦募集案内、推薦メ切4/13、学会メ切3/30←HP、Geo-flash、Newsに掲載

4) 平成30年度の東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成候補者推薦募集案内、推薦メ切10/10、学会メ切は8月末日←HP、Geo-flash、Newsに掲載。平成29年度受賞者決定通知あり、地質、会員関係者の受賞なし。

5) 日本学術振興会賞候補者推薦募集案内、受付期間 4/6-4/11、学会メ切3/23←HP、Geo-flash、Newsに掲載

6) 財) 国土地理協会2018年研究助成の募集案内、受付期間 4/2-4/20←HP、Geo-flash、Newsに掲載

<会員>

1. 今月の入会者（11名）

・2018年度から入会

正会員（2名）：入佐友弥、加藤太一

正（院生割引）会員（5名）：川本一樹、岩崎諒仁、石山恭行、北垣直貴、有山菜々子
入会年度確認中（4名）：正会員（4名）：田中博春、東 佳生、望月貴史、池田啓貴

2. 今月の退会者

正会員（1名）松本 尚

3. 逝去者 なし

4. 2017年12月末日会員数

賛助：28、名誉：55、正会員：3654（正会員：3455、正（院割）会員：184、正（学部割）会員：15）合計 3737（昨年比-60）

<会計>

・次年度予算案の素案を提示し、4月理事会までに確定案を策定する。

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮・内藤）

・2/23 フォトコン審査会を開催し、以下の様に選出した。

最優秀賞1、125周年記念賞1、優秀賞2、ジオパーク賞1、日本地質学会賞1、ジオ鉄賞1、スマホ賞1、入選5、佳作（賞金なし）12

・授賞写真は、5/18の記念式典および5/19の総会で展示予定、表彰は19日の午前中に実施。

・今年の銀座プロムナードでの展示期間は

4/28-5/12に決定。

4. 学術研究部会（岡田・山田）

(1) 行事委員会（岡田）

1) 札幌大会関係

・大会業務委託は近畿日本ツーリスト北海道に決定。2/26に担当者が上京し、これまでの業務内容と齟齬がないよう確認した。なお、あらためて業務委託について覚書を担当者から送られる予定。契約書となると社内手続きが簡単ではないので、覚書がよいとのこと。また、展示ブース代および広告料についての値上げ、賛助会員の無料扱いは割引価格とする、などのアドバイスをうけた。

・小さなアースサイエンティストポスター発表会は9月7日（金）実施で調整する

・展示ブース代の値上げ（一般1小間5.4万→8万；賛助会員 無料→3万）

・懇親会はキリンビール園を検討中

(2) 国際交流委員会（井籠）

・125周年記念シンポジウムの招聘者候補を概ね検討した。シンポジウム開催日は9月6日。日本の発表者選考は行事委員会で検討する。

・招聘者のおもてなし等についても国際交流委員会・行事委員会を中心に検討。

・招聘者の、旅費は9/6を中心に4泊5日分、往復交通費とする（同伴者は除く）。費用負担は125の予算と国際交流費から賄う。

(3) JIS、標準担当（中澤）

5. 編集出版部会（中澤・田村・小宮）

(1) 地質学雑誌編集委員会（山路編集委員長、中澤担当）

1) 編集状況報告（2月25日現在）。

・2018年投稿論文：15編 [内訳] 総説1（和文1）・論説6（和文6）・報告4（和文3、英文1）・巡検案内4

・査読中：44/受理済み：19（うち特集号12）
・124巻2月号（通常号）：論説5（56ページ、3/1発送済）

・124巻3月号（通常号）：総説1、論説2、報告1、講座1（50-60ページ、入稿中）

・124巻4月号（125特集号?）：「水蒸気噴火の地質学的研究の進展」

2) 125周年記念特集号状況（掲載予定順）

(2) アイランドアーク編集委員会（田村）

1) 編集・特集号・投稿状況等の報告

2) プレプリント・サーバーに投稿された原稿に関する扱いについて検討したが、結論を得られず継続審議とした。地質学雑誌との兼ね合いもあるので、当面、投稿規程は変更しないことにする。

(3) 企画出版委員会（小宮）

・ゆめ基金最終段階の進捗状況。3/31終了で作業中。子どもを対象のモニター会を実施する予定。

・「伊豆大島と三原山」のリーフレット探検シリーズ原稿については、再々修正の原稿を提出していただいたが、再々校閲の結果不採択となった。なお、これについては現状打開のために、企画出版委員会、著者及び協力者との話し合いをもってはどうかと

のことで、その方向で調整することとした。

・リーフレット企画出版委員会委員長の高清水会員より任期満了の今期にて委員を退任したい旨の通知を受けた。次期委員の補充と委員長の選出が必要。現在の委員：高清水康博（新潟大教育）・伊藤孝（茨城大教育）・大木淳一（千葉県博）。これについては、高清水氏の退任を了承し、新期委員として内藤氏（産総研）を推薦することとした。

・125周年記念事業として予算段階で、近畿支部からリーフレットの企画があるとの報告をうけている。この取扱いは、企画申請、査読等については通常のリーフレットと同様とするか、要検討。記念出版になるのであまり時間はかけられない。できたものは近畿支部としてある程度無料配布で利用したい、残りは学会から通常のリーフレットと同様に販売してもらおうつもり、とのこと。これを検討し、まずは通常のリーフレットとして企画申請をしてもらうことにした。

6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木・辻森）

・街中ジオ散歩in Kawasakiについては川崎市教育委員会の後援承認を得て準備をすすめている。

7. ジオパーク支援委員会（平田）

・JGNの齋藤事務局長から天野委員長にJGCの組織改編および調査運営部会員の推薦依頼について説明があった。

8. 地学オリンピック支援委員会（平田）

・3/24（土）に委員会を開催予定。

9. 県の石支援委員会（辻森）

・出版については井龍理事が現在奮闘、努力中。発行時期については現状では未定。

10. 125周年記念事業実行委員会（矢島）

1) 経過報告、工程表の確認

2) 矢島、佐々木両理事の報告をうけ、次の点について検討した。

・記念国際シンポジウム「社会と地質学」(9月6日(木)北海道大学)の準備について、行事委員会が主体となって国際交流委員会の協力のもとに進めることを確認した。

・「県の石」出版の状況がまだはっきりしないので、現状の確認をし、9月の札幌大会に間に合うよう尽力する。

・地質学雑誌125周年記念特集号の発行状況と今後の見通し（記念特集号の期間～2019.3）

以上

2018年 4月 7日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会 長（代表理事）渡部芳夫
署名人 執行理事 齋藤 真